

3. 被災住民ニーズの整理

(1) 住民アンケート調査等の実施概要

被災後の片付け作業も進み、個々に住宅の再建を考えるフェーズに入った10月26日、復旧復興にあたっては、被災者それぞれに考えがあることを念頭に置きつつ、安全安心な新しい中粕川地区の街区形成という大きな視点から今後の地域づくりについて、座談会という形で話題提供を行いました。

これは、今回のように広範囲に面的な被害を受けた場合、あるいは近年の気象の変化、出水の状況から、やはり将来の地域像を念頭においた計画的な復旧復興を考える必要があると考えたことによるものであり、①水害に対する安全安心、②コミュニティの維持、③集落機能・公共的機能の集約、④農業振興、などを念頭に置き、様々な観点から議論していただくようお願いしたものです。

この意見交換の中で、住民意向を聴取し、今後の取り組みを進めるべきとの意見が多くあったことから、アンケートを実施しました。また、令和2年5月には中粕川地区の復興まちづくり試案を示させていただいたことから、個別相談会を実施しました。

表 3.1 住民アンケート・個別相談会の実施概要

実施期間	項目	対象	担当課等
令和元年 11月1日 ～11月15日	住宅再建に関する意向調査	中粕川地区、 土手崎・三十丁地区 全世帯	まちづくり政策課
令和2年 3月6日 ～3月27日	住宅再建に関する 第2回意向調査	中粕川地区、 土手崎・三十丁地区、 その他地区の半壊被 害以上の方	まちづくり政策課
令和2年 5月29日 ～6月14日	住宅再建に関する 個別相談会	仮設住宅入居者 及び中粕川地区住民	まちづくり政策課
<参考> 令和2年 4月14日 ～4月30日	台風第19号の災害に伴う 復興についての意向調査	中粕川地区	中粕川災害復興 推進委員会

(2) 住民アンケート調査等の実施結果

1) 第1回 住宅再建に関する意向調査結果概要 (参考資料参照)

対象地区ごとに集計した結果、以下のような結果となりました。

〔中粕川地区〕

- ・現地再建希望者が約半数(48.9%)に上るが、全壊判定世帯では半数以上(52.9%)が移転を希望しました。
- ・高齢者のいる世帯の半数弱(45.3%)は、現地再建を希望しました。
- ・移転希望者の理由としては、「今後の水害への不安」(50.0%)や、「被害が大きかった」(42.9%)ことが多く挙げられました。
- ・集団移転構想への意見としては、「条件次第(受動的)」(29.5%)が最も多く挙げられました。
- ・全壊判定世帯の集団移転構想への意向は、「必要」(29.4%)が最も多く挙げられました。

〔土手崎・三十丁地区〕

- ・現地再建希望者は40.0%でした。ただし、全壊判定世帯で現地再建を希望した方はいませんでした。
- ・高齢者のいる世帯の半数弱(42.9%)は、現地再建を希望しました。
- ・移転希望者の理由としては、中粕川地区と同様に、「今後の水害への不安」(42.9%)、「被害が大きかった」(28.6%)ことが多く挙げられました。
- ・集団移転構想への意見としては、「不要」(33.3%)が最も多く挙げられました。
- ・全壊判定世帯の集団移転構想への意向は、「条件次第(受動的)」(60.0%)が最も多く挙げられました。

2) 第2回 住宅再建に関する意向調査結果概要 (参考資料参照)

- ・補修しての現地再建希望者は26.0%となっていますが、未回答が約半数となっており、再建方針を決めかねている方が多数いることが想定されます。
- ・全壊世帯では、自立再建の意向はあるものの、方針が未確定の世帯も多くありました。
- ・仮設入居世帯においても補修しての現地再建(18.4%)が最も多いが、自立再建(方針未定)や未回答も多く、今後、示される町の方針によって決定する者が多いものと想定される結果となりました。

3) 住宅再建に関する個別相談会結果概要

- ・相談者 43名
- ・住宅再建意向結果

今後の希望住宅区分	希望人数
中村分譲地	4
町営住宅	9
現地（中粕川）再建（新築・修繕含む）	13
中粕川嵩上宅地	4
町内移転	4
町外移転	1
未定・検討中	8

< 参 考 >

4) 台風第19号の災害に伴う復興についての意向調査（中粕川地区独自調査）結果概要（参考資料参照）

- ・中粕川地区では半数の42戸が補修して現地再建すると回答しています。
- ・ほとんどの世帯（回答者の100%）が移転後の土地の買上を希望しています。
- ・復興方針で示された嵩上宅地での再建希望者は3戸でした。